

パイプニュース PIPE NEWS

Vol.142
SPRING 2014



CONTENTS

各担当と共にふり返る

パイプ・素材事業部の歩み

今は上り坂!「変化」に対応し、更なるチャレンジを!

～上田事業部長インタビュー～

- MESCO 50周年特集 50周年を記念して3つのリニューアル!
- 新入社員紹介

資料ご請求は [MESCO 検索](#) でクリック

MESCO 三井金属エンジニアリング株式会社
パイプ・素材事業部

2014年5月1日発行 2014.No.2

Vol.142
SPRING 2014



CONTENTS

各担当と共にふり返る

パイプ・素材事業部の歩み

今は上り坂!「変化」に対応し、更なるチャレンジを!

～上田事業部長インタビュー～

- MESCO 50周年特集 50周年を記念して3つのリニューアル!
- 新入社員紹介

2014年5月1日発行 2014.No.2

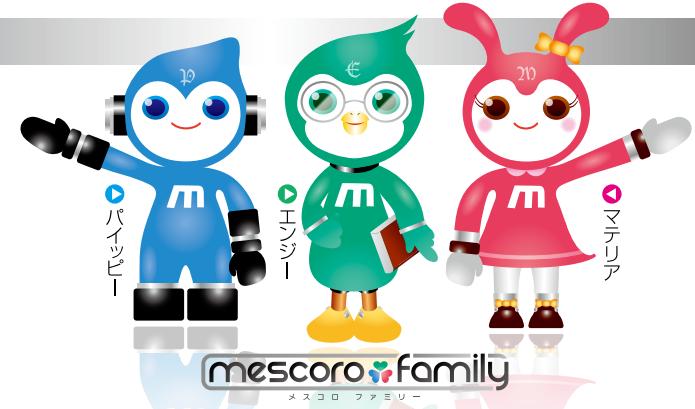
Vol.142
SPRING 2014

MESCO 50周年特集

50周年を記念して、3つのリニューアル!

1 新キャラクター誕生!

これまで本誌にも度々登場してきた「メスコロボーイ」のデザインがパワーアップ。「メスコロボーイ」は「パイッピー」に名称が変更、エンジニア部門の「エンジー」と素材部門の「マテリア」も加わりメスコロファミリーに生まれ変わりました! メスコロファミリーの今後の活躍にご期待下さい。



2 ホームページがリニューアル



MESCO ホームページのデザインが一新。事業毎の用途に応じた製品紹介や、工事事例の紹介など、以前より見やすくなりました。新しくなったホームページは必見です。

MESCO ホームページ URL
<http://www.mesco.co.jp>

3 本社エントランスが新デザインに

錦糸町本社のエントランスがリニューアル。13F 受付の床の一部はアクリルで透明になっており、中には実際に使用しているパイプを使った配管のミニチュアが展示されています。お立ち寄りの際にはぜひご覧ください。



新入社員紹介

4月からパイプ・素材事業部に新しい仲間が2名増えました。これからの飛躍にご注目ください。

- Q1. 出身地はどこですか? Q2. 趣味や好きなことは何ですか? Q3. 自分はどんな性格だと思いますか?
Q4. 自分をカラーで表すと? Q5. 最後に抱負を一言



深堀 賢

- A1. 神奈川県
A2. 野球観戦。横浜のファンクラブに入っています。
A3. マイペース
A4. 緑
A5. 早く即戦力になれるように頑張りたいです。



小松 祐一朗

- A1. 神奈川県
A2. ドライブ(同乗する)、ドライブ先での釣り、スノーボード
A3. 能天気と言われます(笑)
A4. オレンジ
A5. 早く学生気分から抜け出して、社会人として責任を取れる行動をしたいです。

MESCO 三井金属エンジニアリング株式会社
パイプ・素材事業部

東京都墨田区錦糸三丁目2番1号 アルカイースト15F
TEL 03-5610-7850(代) FAX 03-5610-7867

MESCO 50周年特集

パイプ・素材事業部の歩み

平成26年2月17日、MESCOはおかげさまで創立50周年を迎えることができました。今号では過去の工事担当者のインタビューを交え、これまでの歩みを振り返ってみたいと思います。

1969 パイプ事業創業

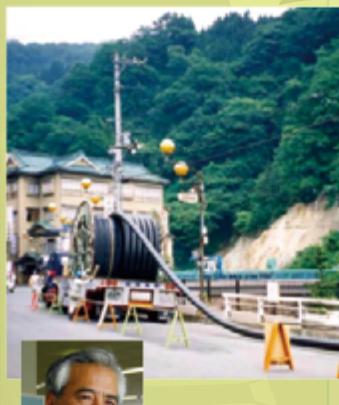
1971 札幌冬季オリンピック

→ 地域暖房用パイプとしてHNGが採用

1980 長野県 諏訪市

→ 温泉配管
初受注

温泉は当時のパイプ事業にとって、未知の領域でした。会社挙げての対応と、諏訪市の方々のご理解・ご協力によりGNGパイプが開発され、諏訪市内の温泉網として採用されました。(先輩談)この実績を各地でPRし温泉以外の用途にも拡販していました。



東京営業所 / 佐藤さん

1985 香川県瀬戸大橋

→ 消火栓給水管として
WEET10・WEETMが採用

往復20kmに渡る橋梁配管工事は、長大橋へのPE複合管施工の先駆けとなるものでした。本土側より順次、施工する方法ではなく、島内部からの施工のため、毎日通船(交通船)での海上移動による作業は大変でした。本四橋への配管工事を契機として、明石海峡大橋等の長大橋配管やケーブル乾燥用エアー配管受注に繋がるとともに、MESCOPIPEの認知度UPに貢献できた思い出深い工事の一つです。



工事部 / 小原さん

1993 EF継手システム およびABFを導入

→ パイプ接続が容易になり確実性UP!

1999~2001 北海道 新篠津村 他

→ 農業用水向けに
大口径(630~1600mm)が採用



大阪営業所 / 野田さん

複数年に渡る工事のうち、私は2年連続で計10か月を担当しました。北海道の冬季は-20℃以下になることもよくあり、融着機の油圧の働きが悪くなる中で、大型の温風機で暖めながら融着作業をしたことを懐かしく思います。



今は上り坂!「変化」に対応し、更なるチャレンジを!



～上田事業部長にインタビュー～

Q: 50周年を振り返って

企業の使命のひとつとして「成長の継続」が挙げられると思います。一般的に企業生命が30年といわれる中、我が社が50周年を迎えることができたのは、諸先輩方・社員の努力、そしてなにより我が社の製品・サービスを評価していただいたお客様のおかげであり、感謝する次第であります。50周年を機に更なる飛躍に向け、社員一同新たな気持ちで再スタートを切ってまいります。

Q: 今後の方向性についてはどのようにお考えですか

近年ポリエチレンパイプはその優れた耐食性・可とう性が認められ、新幹線消雪・融雪配管、トンネル消火配管、海洋構造物等、上下水道の分野以外にも幅広く採用されてきました。また2020年の東京オリンピック開催に向けてのインフラ整備、震災復興事業、老朽化した配管の更新事業等、我が社にとってビジネスチャンスが広がるまさに「上り坂」であると考えます。従って、営業強化により市場を更に広げてまいりたいと思います。また我が社の強みは、設計・製造・工事まで一貫したサービスができるのですが、それを更に高め、お客様に満足していただける最善のサービスを提供してまいります。

Q: 建設業界における人材不足についてはどうお考えですか

昨年も北陸新幹線消雪配管工事をはじめ、様々な場面で工事協力会社の人材不足は実感しています。今後人材不足はますます深刻になっていくことが予想されますので、各地域において優秀な工事協力会社の発掘を早急に進めてまいります。

Q: 最後に従業員へのメッセージをお願いします

勝ち残る企業の条件のひとつは、変化に対応できることであろうかと思います。そのためには社員ひとりひとりが、対応できる知識・技術を身につけること、また失敗を恐れずに、何事にも「チャレンジ精神」をもって業務に取り組んでいただきたい。



厳しい現場での沢山の
「チャレンジ」が、今のMESCOを支えてきたんだね。
皆さん本当にありがとうございました!

2012～震災復興関連工事

→ 宮城県女川町の海底送水管更新

震災時は仙台営業所でしたので、変わり果てた街の光景を目の当たりにし、悔しさと早く地元に貢献したいと思いました。この工事でそれが実現できましたが、岸壁は破壊され、船舶も不足。余震による津波警報で、出航日が延期になる日も。しかし一旦工事が始まると、協力会社との連携も良く、スムーズに進み、改めて「ノウハウを持つMESCO」の底力を感じた思い出の工事です。



東京営業所 / 山岡さん

2002 恵那山トンネル工事

→ 防災本管としてWEET-APが採用



工事部 / 横川さん

PE管がトンネル防災本管に初めて採用された案件です。お客様はPE管をよく知らない、こちらは高速道路の施工をよく知らない中で工事は始まり、苦労の連続で1期工事が完了しました。しかし、2期、3期と経験を重ねるごとに課題は修正され、最終4期には同一案件とは思えないほど順調に施工することができました。